

山口新聞

平成 24 年 12 月 21 日 (金)

NO. 36

農地・水・環境

守ろう 地域の手で

36



下関市の豊田東地域は標高713㍎の華山の麓、初夏にはホタルの飛び交う木屋川流域に広がる集落である。

当保全隊は19の集落で構成され、自治会などの協力を得ながら農用地の保全に取り組んでおり、今では地域環境保全活動の先頭に立つ、なくてはならない組織となった。

近年増え続ける有害獣による被害対策は大きな課題で、電気柵や金網フェンスの補修作業は地域全体で実施している。

豊田東地域は2010年7月、総雨量468㍎、時

間最大雨量50㍎を記録する梅雨前線豪雨を経験した。集落や農地は冠水し、甚大な被害を出した。

そこで生かされたのが、

農地・水・環境保全活動での共同活動のノウハウだ。

水路や農道など施設の緊急点検を行い、地域で連携して復旧作業を行った。土砂

で埋まった水路や頭首工を直営作業で復旧した集落も

ある。

手に負えない箇所は、現地の状況を記録に撮ってすぐに関係機関に報告した。

復旧工事の際も、過去の機能点検作業の記録が役に立った。共同活動が、農地を

守ったのだと感じた時だった。

地域における課題は多い。中山間地域の農業従事者の高齢化や集落の過疎化は、深刻な課題である。そ

の中で、本年度から2期対策として再入

策として再入

豊田東地域保全隊 (下関市) 地域と共に守る農地

ターゲットした本事業の意味は大きい。農村環境は大切な資源であり、財産である。今まで培った農村環境保全の意識とノウハウを、今後とも地域で継承していきたい。

(代表、吉本知則)
— 金曜日掲載 —



上 阿座上 一集落の会員の皆さん
下 花壇への植栽。こうした共同活動が農村環境を守っている



【メモ】代表 吉本知則
▽会員 403人、農業者、土地改良区、自治会など
▽設立 2007年4月
▽連絡先 下関市豊田町殿敷、豊田町土地改良区
☎0833・7662
20052